

法学研究科(修士課程)

法律学系

分野	研究指導教員名	研究テーマ	指導領域
憲法	中村 英樹	表現の自由論を中心に、放送法制をはじめとしたメディア法や、ヘイトスピーチに対する法規制のあり方に関心があります。	憲法に関する研究テーマであれば、できる限り対応します。憲法解釈論に加えて、憲法政策の観点からの研究にも対応します。
憲法	山本 健人	信教の自由・政教分離の解釈論、デジタル立憲主義などを中心に研究しています。	憲法、比較憲法、情報法、宗教法、移民法に関するテーマに対応します。
行政法	井上 禎男	メディア法制、放送・通信法制、情報公開・個人情報保護法制、行政情報化、番号法制、地区防災計画、災害・防災と法制度、地方自治法制、地域研究がテーマです。	参照領域によって多少密度が変わる可能性はありますが、行政法学(行政活動の法適合性の検討)上のテーマであれば、基本的に全般に対応します。
行政法	近藤 卓也	国家賠償の制度論、公務員の個人責任、水害訴訟といった分野を中心に、国家補償のあり方について研究しています。	行政法(行政組織法、行政作用法、行政救済法)に関する研究テーマであれば、できる限り対応します。
民法	矢澤 久純	一応、民法学全般に関心がありますが、実務的内容は扱いません。	民法解釈学に関する内容であれば、一応、対応はしますが、複数の外国(どこでもよい)の法制を踏まえた研究テーマであることが望まれます。
民法	和泉澤 千恵	医療にかかる損害賠償責任(主に看護過誤)や胎児の法的地位について関心がある他、医療スタッフの法構造を中心とした医行為論・歯科医行為論について検討しています。	民法の総則、債権、親族に関連するテーマや、医事法にかかる領域については、できる限り対応します。
民法	福本 忍	債務不履行に基づく契約解除や危険負担を中心に研究を進めています。比較法はフランス法。最近ロシア民法や旧・満洲帝国民法の契約解除法制にも関心があります。	債権法領域にかかる研究テーマであれば、できる限り指導対応に努めます。ただし、実務的側面の色濃いテーマには対応できない場合があります。
民法	清水 裕一郎	物権法・担保物権法が専門です。これまでは、動産担保に関する諸問題を中心に研究してきました。最近では、遺骨に対する権利、満洲国の民法にも関心があります。	物権法または担保物権法に関する研究テーマであれば、動産・不動産を問わず可能な限り対応させていただきます。
刑法	土井 和重	企業犯罪や組織犯罪の規制訴追の在り方について研究しています。取引的な捜査手法や、大規模災害に対する刑事訴追を検討課題にしています。	刑法解釈論の理論的な検討並びにそれに付随する立法課題の検討に対応します。
刑事訴訟法	水野 陽一	公正な裁判とは何かについて研究しています。近年では、刑事手続におけるAIの利用にも関心を持っています。	刑事法学全般について、関心を持っています。これまで、例えば刑法の過失犯について、刑事訴訟法では弁護人の立会権について指導を行いました。
刑事学	藤田 尚	刑事政策と犯罪学が専門であり、その中でも、少年非行、司法と福祉の連携、社会的養護と犯罪予防の研究に従事しております。	犯罪学と刑事政策に関連するテーマであれば、可能な範囲で対応したいと思います。
法哲学	重松 博之	承認論を中心に、ヘーゲル法哲学を研究しています。関連して、ヘーゲル承認論の現代正義論への応用にも関心があります。	法哲学・法思想史に関連する研究テーマであれば、できる限り対応します。
法社会学	林田 幸広	後期近代の法／社会理論。特にアーキテクチャ型機制における公共性や法主体のあり方に関心があります。	日本の法社会学分野の諸テーマに関し、理論に定位した研究テーマであれば、できる限り対応します。
国際法	二宮 正人	国連などの国際機構の活動が加盟国に与える影響について、国際法を軸に、法的な観点から研究しています。近年は、とくにジェンダー平等の問題に取り組んでいます。	院生の希望に応じ、安全保障、難民、移民、人権、国際経済・貿易、海事などの分野に関して、研究指導を行ってきました。一緒に研究を進めるスタイルを心がけています。まずはご相談ください。
社会保障法	津田 小百合	伝統的な社会保険像から逸脱する法改正がどこまで許されるのか、個別具体的な法的課題からその限界を探究しています。	社会保障制度を巡る議論は、分野性格的に政策論や立法論に傾きがちですが、法的視点を持った研究テーマを歓迎します。

政策科学系

分野	研究指導教員名	研究テーマ	指導領域
政治思想	大澤 津	英語圏の分析的政治哲学を基礎として、政策的観点も含めた応用的な政治理論を研究しています。特に市場経済や労働といった問題に関心があります。	分析的政治哲学及びその応用的理論に関するテーマに対応します。
政治学	上條 諒貴	執政制度、議会制度、選挙制度といった様々な政治制度の機能やその影響について、数理的/政治経済学的な手法を用いて研究しています。	政治制度や政党組織といった比較政治のトピックはもちろんのこと、日本政治に関するテーマについても幅広く対応します。政治経済学的な分析に関心がある方も大いに歓迎します。
環境政策論	申 東愛	エネルギー・気候変動・廃棄物などの環境政策とその政策過程(アクター・利益・政策アイデア)と制度について研究しています。	再生エネルギー・原子力・気候変動政策・廃棄物とその政策過程、持続可能なまちづくり、環境汚染など対応できます。
福祉政策論	狭間 直樹	行政学・社会保障論を専門にしています。公共サービス(特に社会福祉サービス)の民営化・市場化、非営利組織の公益性について研究しています。	福祉行政や社会福祉サービスの制度研究、理論研究。文献研究が中心になります。
政策評価論	横山 麻季子	行政学、地方自治、公共政策の観点から公的部門の評価について研究しています。	政策・施策・事業等における評価や、評価システムが与える影響、あるいは社会的インパクト評価に関する研究に対応できます。
都市社会学	吉田 舞	グローバル化に伴う産業構造・労働市場の変容を研究しています。フィリピンの開発政策と都市下層、日本の自治体の外国人住民に関する施策などに関心があります。	都市社会学、労働社会学、移民研究など、日本やアジア地域の社会問題をテーマにした実証研究など。フィールドワークやインタビューなど、質的調査を重視する研究を歓迎します。
都市工学論	石松 一仁	都市空間における人と自然との関係を見つめ直し、真に合理的な都市のあり方を探究することに関心があります。	都市計画に関わるテーマであれば、できる限り柔軟に対応いたします。とりわけ、地理空間情報を活用し、都市空間を定量的に分析するアプローチを得意としています。